



令和4年度 第5号

発行日 令和4年9月12日(月)

発行 白井市教育委員会

TEL047-492-1111 FAX047-492-6377

各学校 カラー版1部 C4th 全職員に配信

今年の8月も猛烈に暑かったです。この暑さの中、先生方、充電できましたでしょうか。

9月になり、8月のような暑さも少なくなってきましたが、まだまだ暑い日もあります。また、新型コロナウイルス感染症については、高止まりという状況が続いています。引き続き感染症予防と熱中症対策に心がけ、教育活動に取り組んでいただきたいと思います。



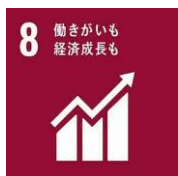
**白井の子供たちの力を実感、市長も感動！**

## スクールサミット

8月23日(火)に第2回スクールサミットが開催され、各校から多くの貴重な提案が発表されました。スクールサミットは、「児童生徒のスピーチ能力・プレゼンテーション能力の育成」「市内に住む他校の児童生徒のスピーチ・プレゼンに触れる」「若い世代の市への提言」を目的として開催され、今年のテーマは「SDGsな ふるさと白井を」です。市長・副市長・教育長も参観し、「今回の提案は白井市の財産となり、発表した経験は皆さんの財産になる」と講評をいただきました。今回の取り組みは、千葉日報にも紹介されていました。

収容人数802人のところ、1割にも満たない参加者で、間隔をとりながら、しっかりと感染予防対策をとって行いました。来年度も開催予定ですが、来年こそは、全校お互いの発表を会場で見られるようになるといいですね。

○今回学習したことと他校の発表を聞いて、私は白井市に対して大いなる誇りを感じることができ非常に良かったです。



- レンタサイクルでの白井観光。季節・プランに合った観光スポット、名所を巡る。
- 梨マラソンの開催日に運動公園内でお祭りを開催。コース周辺に屋台を開く。
- 農業体験ができるテーマパークを作る。
- 人口減対策のため、大型商業施設をつくり、まずは知名度アップを。
- 外部からの文化+白井にあったもの=新しい白井の文化=白井らしさ・白井の誇り。白井の文化がなくなれば、新しい白井の文化は育たない。
- 大型商業施設を建てたり、企業を誘致したりすれば、経済成長し、働き甲斐のある街になるのではないか。
- 働くことで、人と人とを温かくつなぐ。
- 農業存続のための人材育成、ロボットの導入、梨の魅力を伝えるイベント開催。
- 募金活動。放送委員会による呼びかけ放送。落ち葉掃き、清掃活動。



○他校の意見を聞くことができたのは、とても貴重な体験でした。

- 世界には、病気で亡くなる子供が多い。学校にいけない子供がいる。日常的に暴力を受けている子供がいる。今の自分たちでも、募金や献血、寄付はできる。
- 白井市独自の教育で、正しい知識と柔軟なものの見方を身につけ、不平等や差別のない世界を作りたい。
- いじめが起こりにくい環境を作るには、お互いの意見を受け入れることが大切。
- 男女格差なく平等に生きていける社会になってほしい。
- WWF ジャパンやユニセフに募金する。

○準備はとても大変ですが、終わった後の達成感が大きく、やりがいを感じられたので準備期間は充実したものになりました。



- 競馬学校の馬糞は、梨農園でたい肥として使われている。
- プラスチックごみを減らすために、自動販売機はマイボトルを使ったドリンクバー形式に。食材の買い物はマイエコパック持参。
- 環境に良い取り組みとして、ソーラーパネルの設置。意識を高めるために食育授業とごみに関する授業を。
- 校外学習や自然教室から見つけた SDGs。再利用で地球温暖化・海洋汚染を防ぐ。



○今回の取り組みで、スクールサミットの目的であった「プレゼンテーション能力の向上」を達成することができたと思います。

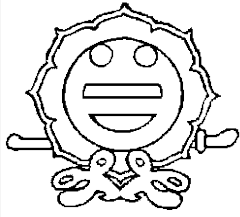
- 食品ロスの解決方法と食べ残しの現状をポスター、クラスの人に伝える、手紙書くなど、私たちができることを実行する。
- 残飯・廃棄牛乳プロジェクト。
- 残菜を減らすため、「わたしの給食ペロリンピック」に取り組んだ。
- 白井の特産品「梨」のロスをなくすためのアイデア。梨石鹸、梨アイス、梨のドライフルーツなど。梨の枝も再利用。
- 残菜率削減プロジェクト。NO 食品ロスプロジェクト。→ポスターで啓発。音楽で伝える活動。おなかがすく体操。世界の食糧問題を全校に知らせる。ご褒美大作戦。
- 食品ロスをなくす料理。→ブロッコリーの茎料理、キャベツの芯のきんぴら、スイカの皮のスープ。いかがでしょう！
- 地産地消で CO2 の削減を。料理の作り過ぎに気をつけ、食べられる量を盛りつけよう。
- 梨を使ったふるさと産品を活用した梨パフェはいかが？
- キャンパスピ市の SDGs への取り組みと今自分たちにできること。
- つくる責任つかう責任から、食品ロスを減らす。マルマルモリモリ給食習慣。目指せ残菜ゼロ。
- 実用的であり、家庭・地域の協力が得られ、自分たちでできること。家庭でいらなくなった布をリメイクし、コースターと雑巾を作った。

○このスクールサミットは、発表の練習や調べることがとても大変でしたが、新しく学ぶことがあり、とても楽しかったです。



## 校章の紹介

各校の校章の由来を紹介いたします。



### 【白井第二小学校】

《由来》

鏡・玉・剣をもってそれぞれ知・仁・徳の三徳にあて、調和のとれた人間性豊かな児童の育成を願って作られたものである。



### 【白井中学校】

《由来》

敗戦後の食糧難の時代（昭和22年開校）農本主義を教育の基本として学校運営にあたったことから、稲穂で白中の文字を囲み、勤労精神豊かな生徒の育成を目指して作られたものである。

## 学校自慢

各校の学校自慢をお伝えします。

### 清水口小学校の学校自慢

児童数：398

学級数：17

来校された方が、まず驚くのが校庭の広さです。大きな校庭で、体育の時間や休み時間に、思いっきり運動することができます。子どもたちは、この広い校庭と同じように、伸び伸びとしていて、親しみやすく優しい子が多いです。

保護者や地域の方々のチームワークもよく、防犯ボランティアやPTA 環境整備作業で本当にたくさんの方々が学校に協力し支えてくれています。職員の団結力も素晴らしく、驚くほどのパワーを発揮しています。

## 電子図書を活用しましょう

全く活用されていない学校もあれば、1か月に500回の利用がある学校もあります。まずは、終礼などで周知してはいかがでしょうか。5分程度で周知できるものです。隙間時間を使った活動に使えますよ。



## 大山口中学校研究紹介

研修動画の視聴や全国学力学習状況調査の分析、学校支援アドバイザー田中先生による授業アドバイスを受け研究を進めていきます。また、アンケートにより、教職員と生徒の意識変化を見ていきます。

### 【研究主題】

見方考え方を育てる手立てのあり方 ～パフォーマンス課題を通して～

### 【研究仮説】

<仮説1>

生徒の思考を促す対話的な学習の場を設定すれば、「見方・考え方」が深まるであろう。

<仮説2>

パフォーマンス課題を設定すれば、課題解決の過程で新たな「見方・考え方」に気づくであろう。